

平成 30 年第 1 回豊能町地域公共交通会議議事録

平成 30 年 10 月 9 日

<p>会長</p>	<p>それでは定刻の 13 時となりましたので、これより平成 30 年第 1 回豊能町地域公共交通会議を始めさせていただきますと思います。</p> <p>本日は皆様お忙しい中、当会議にご出席いただきありがとうございます。私は会長を務めさせていただいております富山大学の猪井でございます。</p> <p>本日は定数 17 名の委員の内、15 名の皆様にご出席をいただいております。従いまして豊能町地域公共交通会議規則第 5 条第 2 項の規定によりまして、定数の過半数の出席要件を満たしておりますので、本日の会議が成立しておりますことを報告いたします。</p> <p>次に傍聴ですが、会議開催時刻までに受付を済まされた傍聴希望者は 4 名おられました。豊能町地域公共交通会議規則第 5 条第 4 項により会議は原則公開としています。この場の皆様のご承認により、同運営要領第 7 条の規定により受付したものとみなし、傍聴を認めたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>ありがとうございます。皆様ご異議がないということで、傍聴いただこうと思います。それでは、傍聴者の方の着席をお願いします。</p> <p>(傍聴者入室・着席)</p>
<p>会長</p>	<p>それでは議事に入ります前に、人事異動等がございましたので、委員の交代がなされた方もございます。委員の紹介、並びに本日の出席者の紹介を事務局よりお願いします。</p>
<p>事務局 (西野)</p>	<p>それでは、規則の規定順にしたがいましてご紹介させていただきます。</p> <p>最初にもご挨拶がありました。改めまして本会議の会長で富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科の猪井様でございます。</p> <p>町関係者は後ほどご紹介させていただくことにいたしまして、次に阪急バス株式会社自動車事業部長の野津様でございます。</p> <p>続きまして、日の丸ハイヤー株式会社営業部長の田中様でございます。</p> <p>一般社団法人大阪タクシー協会より京都タクシー株式会社営業部次長の宗口様でございます。</p> <p>私鉄関西ハイタク労働組合連合会より執行委員で阪急タクシー労働組合の堀内様でございます。</p> <p>続きまして、豊能町老人クラブ連合会より会長の伊勢様でございます。</p> <p>豊能町自治会長会より会長の氷見様でございます。</p> <p>豊能町介護者(家族)の会より理事の柴田様でございます。</p> <p>国土交通省近畿運輸局大阪運輸支局運輸部門首席運輸企画専門官の後藤様でございます。</p> <p>続きまして、池田土木事務所より地域支援・企画課課長の湯浅様でございます。</p> <p>豊能警察署交通課長の野崎様でございます。</p> <p>能勢電鉄株式会社より鉄道事業部副部長(運転・車両・土木・電気担当)兼運転課長の東山様でございます。</p> <p>最後に豊能町の関係者をご紹介いたします。</p> <p>豊能町総務部長の内田様でございます。</p> <p>豊能町生活福祉部長の上浦様でございます。</p> <p>豊能町建設環境部長の上畑様でございます。</p> <p>本日の出席委員は以上でございます。</p> <p>一般社団法人大阪バス協会常務理事の阪部様と阪急バス労働組合副執行委員長の日田様につきましては、本日はご都合がつかず、欠席と聞いております。</p>

	<p>最後に事務局職員を紹介させていただきます。 豊能町生活福祉部健康増進課課長の松本でございます。 同じく健康増進課課長補佐の田中でございます。 豊能町総務部秘書政策課課長の小嶋でございます。 同じく秘書政策課課長補佐の江崎でございます。 最後になりましたが、私は同じく秘書政策課主事の西野でございます。 どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上、本日もご出席いただいている方々のご紹介をさせていただきました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。それでは議事に入らせていただきたいと思います。本日の会議についてご説明いたします。</p> <p>次第をご覧ください。本日用意しております案件は2件ございます。1件目が協議させていただきたい事項といたしまして、「道路運送法に基づく市町村運営有償運送（福祉輸送）について」でございます。もう1件が、「豊能町地域公共交通基本構想」の進捗状況と「箕面森町線バス延伸に関する住民意識調査」の結果報告についてご報告いただきたいと思います。</p> <p>会議は、午後3時には終了していきたいと考えますので、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます。協議事項で「道路運送法に基づく市町村運営有償運送（福祉輸送）について」、事務局よりご説明願います。</p>
<p>事務局 (松本)</p>	<p>こんにちは。生活福祉部健康増進課の松本です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>資料については、資料1と資料2になります。協議事項については、道路運送法に基づく市町村運営有償運送についてご協議をお願いいたします。</p> <p>まず、事業について、ご説明させていただきます。事業名は外出支援事業といたします。</p> <p>介護保険法の規定で要介護と要支援に認定された方もしくは身体障害者手帳を有されている方の一部の方について、福祉輸送を町の方で事業としているものです。</p> <p>これまでですが、15年に外出支援事業が立ち上がった時に、町内充実というのが原則でありまして、根拠法令は道路運送法第78条第2項、道路運送法施行規則第49条第1項の中で定められているものでございます。</p> <p>平成15年にこの事業が始まります時に、こちらの会議にかけさせていただきました。町内の充実、それから町外の病院に行きたい方がたくさんいらっしゃいましたので、町外の病院へ行く時に、こちらの外出支援事業を使えないかということでご協議いただきました。</p> <p>当時は、町外の病院すべてとするのではなく、川西市立病院、箕面市民病院、池田市立病院の3つの公的な病院については、認めましょうということを決めていただきました。これまで、町内の30分以内の医療機関もしくは家から30分以内のおでかけを充実させていただくために使っていたことと、プラス3つの病院にして参りました。</p> <p>そこからこのルールで来ていましたが、だんだんと登録者数が増え、今登録者が約300人いらっしゃいます。この300人の方が、町内の中で病院へ行くこうとすると、朝一番は市民病院に行かれる方が多く予約を取られます。そうすると、町外ですので、帰ってくるのに30分は時間がかかり、1回のコマを30分とすると、2コマプラス渋滞を予想して1コマということで、3～4コマは1台の車で制限をかけないといけない状態です。町内で病院に行きたい、買い物に行きたいという方が、3コマ分待っていただいている状態が続いていました。</p> <p>それを解消する方法がないか検討してきました。15年当初、外出支援事業は「おでかけくん」という黄色い車が2台運行していましたが、足りないだろうということで京都タクシー様と阪急タクシー様に委託しまして、1枚500円のチケットをタクシー券のように使っていただける方法をとりました。そうすることによって、町外も充実するだろうということで始まった事業です。</p> <p>この2事業者が、平成29年度で11事業者に増えております。介護タクシーや日の丸タクシー様などの他のタクシー会社も委託してきました。これにより、「おでかけくん」を使っていただくよりも、介護タクシー、タクシー会社を使っていただく件数の方が増えてきてまして5,762件ほど</p>

平成 30 年第 1 回豊能町地域公共交通会議議事録

	<p>乗っていただいております。</p> <p>タクシー会社を使って町外に出させていただく、町内の充実は「おでかけくん」2台で、30分以内で、ご自宅から病院・お買い物・美容室・お友達の家、またそちらからご自宅まで帰っていただくという、この充実を図っていこうということをさせていただきたいと考えています。</p> <p>そこで、要綱を変えるため、資料1と資料2をご覧ください。第6条ですが、「ただし、所用時間がおおむね片道30分の医療機関への送迎については、町外であっても可能とする。」となっておりますが、協議いただきまして、「町内とし、1回につき30分を限度とする。」と変えたいと思っております。</p> <p>ご協議賜りますようよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ご説明をいただきましたが、簡単に言いますと「おでかけくん」の利用範囲の変更というのを皆様ご協議いただきたくと考えております。</p> <p>それでは質問、ご意見ございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
堀内委員	<p>確認ですが、利用範囲を変更ということで、町内として1回30分を限度とするということなので、改正前の医療機関を省いて、ご説明のあったようにいろいろなところへ行けるという変更ですね。</p>
事務局 (松本)	<p>町外の医療機関をはずします。町内では、今までもですが、医療機関プラスお買い物・美容室・お友達のところなど、家から出発、家へ帰るといった際には使っていただけます。</p>
会長	<p>他にご質問・ご意見ございませんでしょうか。</p> <p>確認ではございますが、これはあくまで「おでかけくん」に関するお話で、タクシーの利用については引き続き町外で利用できるということですね。</p>
事務局 (松本)	<p>そのとおりです。「おでかけくん」については、この要綱を改正することとし、介護タクシー、タクシー会社の利用については、チケットをタクシー券代わりに使っていただくこととしております。</p> <p>今検討しておりますのは、タクシーについては、1枚500円の利用のみだったのですが、介護タクシー・京都タクシー・阪急タクシー・日の丸タクシーの利用では、2枚使っていただけるように考えております。</p>
会長	<p>もう一度整理しますが、町外に出られる時については、「おでかけくん」の利用券を500円のタクシー券として使える、これまで1枚だったのを今回の改正に伴って2枚使えるようにしようということで、町内については変わらないですね。</p> <p>タクシーチケットの方は別件でございますが、こういうことをしようということです。「おでかけくん」の方、市町村運営有償運送を改正するということです。</p> <p>他にご意見・ご質問ございませんか。</p>
柴田委員	<p>元は町内が原則だったんですか。話を聞いていると町外の医療機関の利用者がだいぶ多いように思う。住民の負担が多くなるのではないかと思うんですが、2台しかないのを増やすとかできないんですか。</p>
事務局 (松本)	<p>町内が原則でした。</p> <p>今のところ2台で運行していこうと思っております。需要がかなり伸びるようであれば、台数の増を検討していかなければならないと考えています。</p>
会長	<p>他にご意見・ご質問ございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>この変更で、タクシーの皆様には新たなご負担等も出るかと思えます、新たな仕事をしていただ</p>

	<p>く必要があるかと思えます。 この場で、皆様にこのような変更をご承諾いただけるかをお伺いしようと思えます。この変更について、ご承諾いただけますでしょうか。ご異議ある方ございますか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>よろしいですか。そうしましたら、ご承諾いただけたということでまとめさせていただきます。 それでは変更の方手続きをお願いいたします。</p> <p>それでは 2 点目、報告案件でございます。「豊能町地域公共交通基本構想」にかかります進捗状況のご報告と調査についてのご説明をお願いします。事務局よろしくをお願いいたします。</p>
<p>事務局 (小嶋)</p>	<p>秘書政策課の小嶋と申します。資料「豊能町地域公共交通基本構想」を参照しながらご説明いたします。それではご報告いたします。</p> <p>まず最初に、豊能町地域公共交通基本構想の趣旨についてご説明いたします。</p> <p>本町では定住化の促進や高齢者にやさしいまちづくりといった課題を解決するため、まちづくりと連携した総合的な交通ネットワークの目指すべき方向性と課題解決に向けたプランを記載した「豊能町地域公共交通基本構想」をこの地域公共交通会議のご協議を経まして、平成 26 年 4 月に策定いたしております。また、平成 28 年 4 月には一部改訂しております。</p> <p>この「豊能町地域公共交通基本構想」の 7 ページにおきまして構想実現に向けた全体像をお示ししています。また、冊子末の資料 2 で、構想の工程概要を、資料 3 においては、短期・中期・長期に分けた構想の工程別路線図を記載しています。</p> <p>冊子末の資料 2 がわかりやすいと存じますので、資料 2 をご参照ください。</p> <p>平成 27 年度よりの短期計画においては、構想実現に向けた準備、代替手段の実施ということで、能勢電鉄ときわ台駅と中止々呂美を結ぶ、いわゆるリレー便の運行と東地区ではデマンドタクシーを運行して参りました。</p> <p>平成 30 年の現在では、中期計画の終わりの段階に来ております。計画どおり北大阪ネオポリス線の箕面トンネル経由便を実現し、交通結節点整備としてときわ台駅のバリアフリー化並びに周辺整備によるターミナル化に取り組んでいるところです。</p> <p>この整備状況については、ときわ台駅のバリアフリー化は、昨年度に実施設計が完了し、今年度、バリアフリー化の工事を能勢電鉄様に行っていたいただいているところであります。</p> <p>また、駅のターミナル化につきましては、今年度では、現在駅前地下で運営している駐輪場を、無料化・無人化して地上に移転する工事を行います。この地下駐輪場跡地にバスロータリーを整備する予定になっており、今年度実施設計を行い、平成 31 年度には整備工事を行う予定です。</p> <p>基本構想の中期計画の動きの現状としては、以上となります。</p> <p>長期計画では、北大阪急行延伸等にあわせた構想の完成として「北大阪急行延伸に伴うバスの再編等にあわせた、幹線系統の再編を掲げております。この完成した形の路線図については冊子の最終頁資料 3 に掲載しております。</p> <p>この長期計画は、具体的には、箕面森町止まりの阪急バス箕面森町線を能勢電鉄駅まで延伸させることを主たる内容としたものであります。</p> <p>この計画実現に向けて、本年度では池田銀行ときわ台支店前の町道の線形改良工事の実施設計を行っています。延伸されたバスの発着駅を「ときわ台駅」とするか「光風台駅」するかというところは、まだ判断はできてはおりませんが、できるだけ早い時期に発着駅について判断したいと考えています。</p> <p>森町バス延伸における関係機関との協議については、本年 5 月に、大阪府の交通道路室、池田土木、箕面整備事務所、箕面市と本町を交えた 4 者で箕面森町バス延伸にかかる会議を行い、本町の状況について基本構想をもとに説明したところです。</p> <p>また、9 月には、さきほどのメンバーにバス事業事業者として阪急バス(株)様をアドバイザーに加えて「豊能町及び箕面森町におけるバス路線検討会議」が立ち上がっており、今後、継続的に開催される予定です。この会議において、本町の状況と立場をしっかりと伝えて、バス延伸実現に向けた調整を図っていきたくと考えています。</p> <p>基本構想の施策にかかる施策の進捗状況の報告は以上のとおりです。よろしくをお願いいたします。</p>

平成 30 年第 1 回豊能町地域公共交通会議議事録

会長	<p>ありがとうございます。それでは、この点につきまして、ご質問・ご意見ございましたらお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>経緯がございまして、これまで継続的に検討してきまして、今の段階は、短期が終わって、中期に至らんとしているところで、さらに次の段階へというところであります。</p>
氷見委員	<p>お話によると箕面森町のバスが、ときわ台駅に来るか光風台駅に来るかまだ決まっていないということですが、仮にときわ台駅にバスが来なかった場合、ときわ台駅をターミナル化はどうなるのでしょうか。</p>
事務局 (小嶋)	<p>現状は西地区循環で回っておりますが、ときわ台駅バリアフリー化もロータリー化もできておりません。バスの延伸された発着駅に関わらず、ターミナル化するというところで考えております。</p>
氷見委員	<p>ときわ台駅にバスが来るかは関係なく、今の駐輪場は廃止されて、バスが来ても大丈夫な状態になるということですか。</p>
事務局 (小嶋)	<p>おっしゃるとおりで、ロータリー整備して、バリアフリー化ということですよ。</p>
会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
後藤委員	<p>バスの延伸を北大阪急行の延伸に合わせて計画されているということですが、運行するのは阪急バスさんですので、今も人材や経費面でなかなか厳しい状況の中で事業をされていて、なおかつ北大阪急行延伸で路線の縮小の関係など取り組まれているところですので、よく阪急バスさんと話をされた上で、進めていっていただかないとうまくいかないと思いますので、よろしくお願いします。</p>
事務局 (小嶋)	<p>相手があることで、構想を作ったからできるというものではありませんので、十分調整をはかりつつ進めるのは当然のことと思いますので、今後とも詳細なつめ等は進めて参りたいと考えております。</p>
野津委員	<p>後藤委員からもご指摘ありましたように、運転士の絶対数が不足気味になっている、バス業界全体の問題が出てきております。この基本構想を作る段階でも、私どもも参画させていただいて、この絵ができていくんですけど、当時から採算面というところでは課題があるという前提の上で、こういった絵になっているとご認識いただいていると思います。加えて運転士の不足している状況の中で、関係者会議も立ち上げていただいていますし、その中で課題等もご提議させていただくこともあると思いますが、よろしくお願いします。</p>
会長	<p>ほか何かご質問、ご意見、ございますでしょうか。</p>
氷見委員	<p>ときわ台駅と光風台駅まだ決まっていないということですが、どういうところを基準にジャッジされるんですか。</p>
事務局 (小嶋)	<p>一つはニーズ、どちらの方が多いかということがあります。ただ、人口比でいうと光風台駅の方が多いいということになります。ときわ台駅は高齢化も進み、坂も多いですからバスが必要ということもあります。ニーズとそこら辺の折り合いをどうつけるか、総合的に判断して、決めさせていただくということになると思います。</p>
会長	<p>ほか何かご質問、ご意見、ございますでしょうか。</p>
氷見委員	<p>自治会長会の会長ですが、ときわ台の自治会の会長ですので、ときわ台のこと、おっしゃったとおりすごく高齢化が進んでいますので、極端なことを言いますと、ときわ台にバスが来ても、実際利用して、森町通って千里中央の方に行く人が実際どれだけいるかというところ「・・・」の状態です。</p> <p>もちろん現役の方もおられますが、ときわ台駅から国道までがときわ台ですから、真ん中の人た</p>

	<p>ちは大変ですが、駅に近い人は割と能勢電鉄利用されています。国道に近い人たちは逆に東ときわ台の方と一緒に森町の方にバスを利用するために自転車とか、ときわ台駅に車でお迎えされている方が多いので、ときわ台にバスが来なくてもときわ台としてはそんなに問題ないかなど、それならば現役世代の多い新光風台・光風台のことを考えていただく方が、現状から考えると高齢化していますし、自治会としてはそこが悩みの種で、移動手段がどうのこうのとは聞きません。</p> <p>それよりはおでかけくんの方が重要な問題になっている状態です。公共交通機関となるとときわ台の人はときわ台駅を利用するのが当たり前になっています。僕が見ている範囲でアンケートを取っているわけではありませんので、自治会通じてアンケートを取っていただく方がときわ台の方ももう少し声が出るかと思しますので、参考にしていただけたらと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>続いて説明していただいているいいですか。案件の方、箕面森町線バス延伸についての調査が行われたということでそれについて事務局から説明いただこうと思います。</p>
<p>事務局 (小嶋)</p>	<p>それでは「箕面森町線バス延伸に関する住民意識調査」の結果を報告します。お手元の「報告書」をご参照ください。</p> <p>この調査は、「豊能町地域公共交通基本構想」において、長期計画として掲げている阪急バス箕面森町線の延伸について、このバス路線の延伸が実現するならば、どれだけの町民の利用意向があるのか、また、バス路線を接続する能勢電鉄駅はどの駅が望まれているのか等について住民の意識を知りたく、アンケート調査を行なったものです。</p> <p>それでは、内容について報告します。</p> <p>1 ページは調査概要です。調査対象地域は本町の西地区の世帯です。西地区の人口は15,215人、世帯数は6,646世帯で、そのうちから、無作為抽出した1,000世帯に調査票を配布したものです。</p> <p>回答者については、その世帯に通勤・通学されている方がいらっしゃる場合は、その代表者が、また、通勤・通学されている方がおられない場合は世帯主の方にご回答いただきました。配布数は地域別の人口比率に応じて配分しております。</p> <p>8月13日～31日までを回答期間としましたが、回収数は716部、回収率は71.6%でした。</p> <p>2ページに入りまして調査結果概要でございます。</p> <p>2ページ、問1では、性別、問2で年齢、問3で居住地域、3ページ、問4で職業と回答者の属性を尋ねてまいります。</p> <p>2ページ、問2において75歳以上の回答が最も多く、3ページ、問4において無職の回答が最も多いことは、本町の高齢化の様相を表しているものと見られます。</p> <p>4ページ以降の問5から問8までが、現状での公共交通機関の利用状況を尋ねるものです。</p> <p>4ページ、問5でございます。問5は公共交通機関の利用目的を尋ねるもので、集計では、「通勤・通学」が一番多く、次いで「買い物」という結果になっています。</p> <p>5ページ、問6でございます。この問は、問5の公共交通機関の場合の移動手段です。鉄道利用が最も多く、バスは50.4%の方が利用されています。地区別では移動にバスを利用する人は、東ときわ台が最も高く、次いで新光風台となっています。これは、地理的条件によるものであると考えられます。</p> <p>7ページ、問7は鉄道利用の場合の利用頻度の高い鉄道駅を尋ねています。光風台駅が多くときわ台駅がやや少ないという人口の比率に応じた結果になっています。</p> <p>8ページ、問8では公共交通機関の利用の場合の主な目的地・通過・経由地を尋ねています。</p> <p>続いて9ページでは、公共交通機関の利用状況の調査結果についてまとめています。</p> <p>10ページ以降の問9から問18までは、バスが延伸した場合の将来ニーズを問うものです。</p> <p>10ページ、問9では、延伸した場合の利用ニーズを尋ねています。条件にもよりますが、8割以上の方が利用の意向を示しています。現にバス利用の方が利用意向を示されることは当然ですが、現在、鉄道を利用されている方においても、8割以上の方が「利用したい」若しくは「条件によって利用したい」と回答されています。</p> <p>12ページ、問10では、接続する鉄道駅を尋ねています。これは、現に利用されている鉄道駅の利用者にほぼ比例しており、住まいに近い駅を選択されているようですが、東ときわ台地区では、どちらでもよい方が2割以上おられます。</p>

	<p>14 ページ、問 11 では、バス延伸の場合の利用目的を尋ねています。買い物・通勤・通学を想定する割合が高くなっています。また、現在、公共交通機関を「通勤・通学」に利用している人のうち、約 6 割の方が、延伸した場合にバスを利用すると答えています。</p> <p>16 ページ、問 12 でございます。ここはバス利用頻度です、週 5 回以上は 17.5%、週に 3～4 回は 8.6% で、合計 26.1% の人は週 3 日以上の利用を想定しています。</p> <p>年齢別にみますと若年層ほど利用頻度が高いという結果になっています。</p> <p>17 ページ、問 13 はバスの利用方面です。箕面森町行きは同然のことですが、能勢電鉄方面への利用が 3 割近くあるという結果になっています。この回答者を調べますと 4 割以上が買い物利用となっており、次で観光・レジャー、通勤・通学と続きます。</p> <p>18 ページ、問 14 は、行き帰りのバスの利用時間帯です。行きでは通勤・通学の時間帯である 6 時から 7 時台は約 3 割、また 9 時から 11 時台の時間帯が 4 割以上と最も多くなっています。これを利用目的別にみれば、6 時から 7 時台では通勤・通学が、9 時から 11 時台の時間帯では買い物利用の方が多という結果となっています。</p> <p>20 ページ、問 15 は、利用するにあたって最低限必要となる本数です。20 分に 1 本が最も多く、次いで 15 分に 1 本、その次に 30 分に 1 本となっています。延伸バスを多く利用しようと思われている方ほど最低限必要な本数が多くなる傾向が見られます。</p> <p>22 ページ、問 16 は新たな路線での最大限払える運賃を尋ねています。450 円未満の割合が最も高いという結果になりました。</p> <p>23 ページ、問 17 は、望ましい運賃を尋ねています。ここでも 450 円未満の割合が最も高いという結果になりました。</p> <p>24 ページ、最後の問 18 です。この問では、バス延伸に対して期待できないこと、また、不安をお聞きしました。</p> <p>ここでは、まず、料金、次いで日中の本数、次に他の交通機関の接続と上位 3 位が上がっております。</p> <p>28 ページでは、延伸した場合の将来ニーズについてまとめています。</p> <p>以上、意識調査の結果は、課題はありますが、われわれが進めている「地域公共基本構想」の実現を後押しするものと考えています。この結果を踏まえ、なお、一層、構想の実現に向かって進んでいきたいと存じます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、意識調査結果を一気に報告させていただきました。お帰りになられてからでもご意見やお気づきの点、ご意見等がありましたら、事務局までご連絡いただきますようお願いいたします。</p> <p>報告は以上です。よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。ご説明ございましたように多岐にわたってございますので、この場以外でもご質問ございましたら、事務局にお寄せいただきたいということでございますが、この場でご質問・ご意見ございましたらお受けしたいと思っております。</p> <p>氷見委員のご質問と重なるんですけども、このアンケート結果をもって、運行路線を決めるのではないですか。</p>
<p>事務局 (小嶋)</p>	<p>これが決め手にはなりませんし、参考になりますが、これをもって決めるということはありません。総合的に判断する必要があると思っております。地元の方の直接のご意見も伺いたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。大学で専門している人間として、こんなこと言って申し訳ないですが、アンケートを意味がないとは申し上げませんが、アンケートを取った実態と実際やってみてとでは、かなり相違するケースがございます。あれば使いますかと聞くとやはり皆さんあれば使いますとお答えいただくんですけども、多くのケース使っていただけないということがございますので、やりながら、直しながらということがございます。そのやりながら直しながらの最初の段階を決心するための、実際には阪急バスさんとの調整、町の中の意思決定の際の参考の資料になると思っております。これだけで決まらないと思っておりますし、これで決定するのではなく、まずは決めて実験期間においてやってみてというしか、解決方法はないと思っております。通勤についてはある程度予測が付きませんが、自由移動はなかなか当たりにくいことがありますので、やってみて直してやるのが手順かと思いま</p>

	<p>す。 何かご質問ございますか。</p>
湯浅委員	<p>17 ページの問 13 でどちらの方面に向かうかということで、箕面森町地区センターが多いという結果ですが、目的としてはセンターなのかももう少し先なのかわからないです。</p>
事務局 (小嶋)	<p>森町地区センターはさらに千里中央方面へバスが出ていますので、千里中央等を想定されている回答です。</p>
湯浅委員	<p>バスの路線もここで止まるのではなく、千里中央までを考えてやろうということにつながるということですね。最終目的地がわかる方がもう少し説得力があるかなと思います。</p>
会長	<p>基本構想でいうと長期のところをイメージしていて、森町に延びていこうというよりは、箕面萱野から森町止めであるのを豊能町側に延びて来て欲しいという延伸です。ここは箕面萱野方面へ行きたいかという意味です。</p> <p>ほか何かご質問・ご意見ございませんでしょうか。</p>
堀内委員	<p>料金ですが、いくらやったら望ましい運賃ですかという問いですが、450 円未満というところが、安ければ安い方が良いという数字だと思います。もう少しいくらまでやったら OK ですとはっきりさせたいのであれば、もう少し細かい設定の方が良かったかなと思います。ただアンケートですから、安ければ安い方に数字が固まっていくというところがあると思いますが、この出し方は大雑把な出し方なのかなというところが気になります。</p> <p>もう一点、このアンケートが返ってきた年齢層が非常に高いですが、そういう方が通勤・通学ではないので、何人おられましたという数字を出していただいた方が良いと思います。パーセンテージだけ膨らんでしまうので、数字の出し方、グラフの見せ方を考えられた方が、説得力があるのかなというところが気になりました。</p>
会長	<p>アンケートのまとめということで、需要予測で年齢層や男女などの偏りを人口構成等に合わせて回答比率にかけてというのはこれからされると思います。あくまでその前段階のアンケートの生の資料で、ご指摘のとおり偏りはあるというのはご了解いただいてご覧いただきまして、実態的にはこれを元に少し需要を予測していただくことになるのかなと思います。</p> <p>ほか何かございませんでしょうか。</p> <p>引き続き検討していくということで、ご意見をと言っておられましたが、いつ頃までというのはございますか。</p>
事務局 (小嶋)	<p>今月中を目途にいただければと思います。</p>
会長	<p>お気づきの点があれば今月中ぐらいにお寄せいただくということで、ひとまずこれで締めさせていただきます。</p> <p>それでは報告案件を終わらせていただきまして、その他でございますが、事務局で何かございませんでしょうか。</p>
事務局 (小嶋)	<p>案件ございません。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 本日予定しておりました案件は以上でございます。</p>

	<p>それでは、最後に町の方からご挨拶をいただきたいと思います。</p>
内田委員	<p>本日は皆様お忙しい中お集まりいただきまして、貴重な時間を割いていただきありがとうございます。</p> <p>今説明いたしましたとおり、平成 3 2 年度を目標年次としまして、長期計画を完了する、要するに箕面森町のバスを延伸していただくということを最終目標にして、頑張っているところでございます。</p> <p>説明でありましたとおり、大阪府さん、箕面市さん、それから阪急バスさんの参画を得まして、連絡会議を設置いただいたところでございます。箕面市さんも現在交通網計画を作成中であらましまして、その交通網計画においては、豊能町に箕面森町線を延伸するということも書いていただけると聞いているところでございまして、箕面市さんも本町の思いを十分汲んでいただいていると思います。大阪府さんにおかれましても、積極的に広域行政としての役割を果たしたいと言っていたておりまして、大いに期待しているところでございます。</p> <p>ただ、大阪府さんも交通計画の顔と、もう一つは宅地開発をしたという不動産業者としての顔もお持ちでして、箕面森町のために走らせたバスでございまして、大阪府さんがバスの車両を購入された阪急バスさんに補助金を出されたような経緯もあって、どうしてもバスの延伸にあたっては、箕面市にお住いの方、要するに箕面森町の住民の利便性を下げないということが箕面市さんの思いでありますし、大阪府さんの思いでもあります。我々の思いがそのままストレートに簡単に実現するというふうには思っておりません。</p> <p>また、先ほど野津部長からありましたとおり、阪急バスさんの状況も非常に厳しいということで、再三、本町にもお出でいただいて、社内の実情等お聞きしています。特にマンパワーが足りないということ、豊能町において黒字路線はない、全部赤字路線であるということなどお聞きしております。今後は収支の問題、経費の問題も話をしなければならぬと思っておりますが、阪急バスさんからは金どうこうとは今はまだおっしゃっていませんけれども、我々から積極的にそのことも含めて話をしないと、平成 3 2 年度の実現に向けては、とてもじゃないけど進まないと思っております。その点についてもお話を進めていきたいと思っております。</p> <p>今はとりあえずハードの整備を進めるということで、道路、ロータリー、駐輪場、バリアフリー等々注力しておりますけれども、バスの路線の延伸に向けて、今後とも大阪府さん、箕面市さん、それから何よりも阪急バスさんのご理解を得て、努めて参りたいと思っておりますので、皆様のご理解・ご協力を今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はどうもありがとうございました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これもちまして平成 3 0 年度第 1 回豊能町地域公共交通会議を閉会させていただきます。</p> <p>ご協力をいただきましてありがとうございました。</p>

本議事録にかかる会長の内容確認・署名

本議事録について議事内容と相違ないことを確認する。

豊能町地域公共交通会議会長